

民具班：2024年7月13日～15日

文献班：2024年9月14日～17日

# 長野県北部震災被災地(栄村)における 文化財保全活動(第90回)報告

[2024年12月16日・一般報告版]



9月14日に見学した長瀬地区の祭礼

地域史料保全有志の会

===== 目 次 =====

|                        |    |
|------------------------|----|
| はじめに                   | 2  |
| I 民具班に関する報告(文・写真：石野律子) | 2  |
| 1. 第90回民具班活動の基本データ     | 2  |
| ■日 程                   |    |
| ■参加者                   |    |
| ■活動内容                  |    |
| 2. 民具班の活動内容            | 2  |
| ■7月13日                 |    |
| ■7月14日                 |    |
| ■7月15日                 |    |
| 3. 今回のランチ              | 5  |
| II 文献班に関する報告           | 6  |
| 1. 第90回文献班活動の基本データ     | 6  |
| ■日 程                   |    |
| ■参加者                   |    |
| ■活動内容                  |    |
| 2. 文献班の活動内容            | 6  |
| ■斎藤ヨシ子家文書の確認・引き取り      |    |
| ■今回の史料整理状況(目録採りなど)     |    |
| 3. 今回の自炊ーワンコイン昼食！      | 9  |
| III 会計報告(大澤佳寿子・白水智)    | 10 |

## はじめに

7月には民具班の活動が13日～15日にわたって3日間行われ、最近継続して調査している手漉き和紙関係のことがらについて、道具の確認や移動、体験者からの聞き取りなど充実した活動を行った。また、公民館の郷土料理講座に参加して、できあがった料理を震災後救出された立派な朱塗りの平椀に盛ってみるなど、村に伝わってきた食文化と民具を融合させる活動も実現できた。

文献班は、8月中旬に実施予定であった活動が白水の体調不良のために延期となっていたが、1ヶ月後の9月中旬に活動を行うことができた。8月に比べて参加人数は減ったものの、ルーティーンとなっている廣瀬博明家文書の整理に加えて、震災年に保全の注意書きを添えて残してきた旧家の古文書を新たにお預かりすることになるなど、新たな事項もあった。また、夜には長瀬地区の祭礼を見学するなど、9月ならではの楽しみもあった。

以下、この7月と9月の活動を第90回活動としてまとめて扱い、詳細を報告していきたい。

## I 民具班に関する報告(文・写真：石野律子)

### 1. 第90回民具班活動の基本データ

■日 程：2024年7月13日(土)～15日(月)の3日間

■参加者：石野律子・伊藤早穂子・菅原悟・水落建哉・常田一彦・置塩ゆかり・島田豊実・半戸帆南

★栄村から：上倉久佳・広瀬幸利・鈴木剛・鈴木早苗・関澤睦美・安田深雪・飯島広恵・上倉章夫

【差し入れ等】石沢正・廣瀬美幸・島田豊実・関澤義人・鈴木剛・上倉久佳ほか

■活動内容：

〔7月13日(土)〕

午前：旧東部保育園民具収蔵庫にて紙漉き道具の確認聞き取り調査、和紙関連の道具の移動。

玄関入口周辺の不要な道具の片づけ

午後：こらっせにて廣瀬美幸さんに手漉き和紙の聞き取り

※越智家民泊

〔7月14日(日)〕

午前：公民館講座「ざっこくびらを作ろう」調理実習に参加。

午後：茨城県大子町の楮蒸しと皮剥ぎ作業の写真を見て、栄村の作業と比較。

※越智家民泊。

※吉楽旅館泊

〔7月15日(月)〕

午前：半戸帆南さんから津南町の手漉き和紙作りの話を聞く。

午後：廣瀬博明家の手漉き和紙道具の登録(民具調査情報カード記入、写真撮影)

### 2. 民具班の活動内容

■7月13日

前回活動で旧東部保育園民具収蔵庫の古文書史料関連の部屋から発見された廣瀬博明家の手漉き和紙関連資料を上倉章夫さんに確認してもらい、こらっせの収蔵室へ移動させた。また農具などほかの分野の民具に手漉き和紙の工程で使う道具が紛れ込んでいないか探してもらったが、残念ながら見つからなかった。またすでにこらっせ収蔵室で保管している道具類も章夫さんに確認してもらった。章

夫さんからは漉いた和紙の圧搾機で使うジャッキをご寄贈いただき、2階展示室の和紙圧搾機の足元に置いた。セットで使用する道具だから使い方がイメージできるようになった。また当初予定にはなかったが、一部のメンバーで保育園の玄関付近のモノを少しだけ片付けた。

午後は上倉久佳館長のご紹介で、廣瀬美幸(横倉、昭和16年生)さんから手漉き和紙の工程の聞き取りを行った。廣瀬美幸さんは栄村で最後まで手漉き和紙職人であった進さんの奥様である。栄村小学校卒業証書を子どもたちが手漉きする時、進氏のお宅で指導を受けながら紙を漉いた。前回、上倉館長は息子さんの卒業証書をこらっせに寄贈してくださったが、その証書がまさに進さんの手ほどきで漉いた最後の和紙であった。

美幸さんは手漉き和紙の工程の一部を家族で作業されていたこともあり、当時のことを思い出しながら作業工程に沿ってお話し下さった。(動画録画あり、内容は文字おこし済み)



手漉き和紙の道具を確認して下さった上倉章夫さん



手漉き和紙の工程を手振り身振りで丁寧に話して下さい下さった廣瀬美幸さん

## ■ 7月14日

午前は栄村公民館講座に会の参加者も参加し、村民と一緒に参加者20名で郷土料理のザッコクピラ



料理の材料を確認される講師の斎藤ゆうこさん(右)



参加者で手分けして材料を細かく切る

などを実習した。講師は長瀬の斎藤ゆうこさん。準備は関澤睦美さんが担当した。

前日までに材料のほか当日使用する漆器の数を揃え、洗って準備しておいた。当日は講師の斎藤ゆうこさんから話を聞いた後、メニューのザッコクビラ・山菜おこわ・ズッキーニの胡麻あえの下準備にかかった。まな板には牛乳パックを敷いて使い、各自持参した包丁で材料を手分けして切ったり刻んだりしたが、人数が多いので予定よりも早くに事が進んだ。



台所は狭いので、屋外で煮る



左から山菜おこわ・ズッキーニの胡麻あえ・ざっくくびら



差し入れのきゅうりの浅漬けと花豆の煮もの



予定よりも早くに料理が完成！、いただきまーす！

調理時間の合間には、石野がお椀の形についての話をし、こらっせの2階民具展示室に移動して解説も行った。今回の講座で初めてこらっせに来られた女性の中には、民具展示室となっている元5、6年生の教室を懐かしむ卒業生の女性がおられ、当時の話を聞かせて下さった。村の若い女性たちが大勢見学されたのはこらっせ開館以来のことだったかもしれない。みんな熱心に見学されていた。そしていよいよ食事会開始。家族ぐるみで参加されていた方もおり、幼児から高齢者まで賑やかであった。今回使用した銘々の器は廣瀬博明家所蔵の皆朱の器で、皆で作ったお料理をさらに引き立てた。ザッコクビラを盛った蓋付の平たい形のお椀のことを平椀(ヒラワン)というので、この料理の名前の由来にもなっている。また差し入れされたお惣菜にも金蒔絵のオオヒラに盛った。皆で作ったお料理はどれも優しいお味でとても美味しかった。

午後は茨城県大子町で現在も行われている楮蒸しと皮引きなどの写真(石野撮影)をスライドショーしながら、昨日聞き取りした栄村での工程や方法と比較しながら色々と話し合った。

■ 7月15日

昨日の料理講座で使用したお椀類の片付けは会のメンバーで行った。漆器はこのように丁寧に扱うことで少しでも長く良い状態を保つことができる。

その後、廣瀬博明家の手漉き和紙関連の道具を新たに登録し、参加者ひとり1点ずつ民具調査カードに観察記録をチェック、計測し、簡単な写真撮影を行った。初めて参加の栄中学校1年の半戸さんも大人に混じって熱心に取り組んでくれた。



障子紙を作る際に使われた道具箱

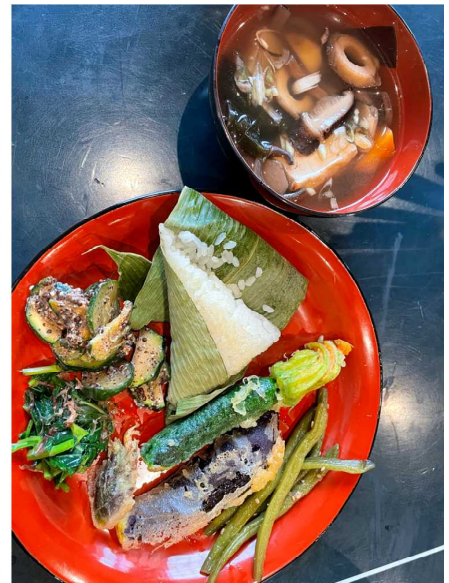


新たに民具登録を行って調査

### 3. 今回のランチ

今回も村の方々から夏野菜などたくさんの差し入れをいただきました。ありがとうございました。貴重な熊肉も秋山郷苗場荘の女将ともこさんから熊肉の調理法を教えて頂き、半日かけて解凍さらに半日かけて3回ゆでこぼしたら、とても柔らかく美味しい熊肉となりました。





## Ⅱ 文献班に関する報告

### 1. 第90回文献班活動の基本データ

■日 程：2024年9月14日(土)～17日(火)の4日間

■参加者：白水 智・高野宏峰・寺島宏貴・藤田明良・半戸帆南

★栄村から：鈴木早苗・鈴木剛・安田深雪

【差し入れ等】馬場正則・半戸帆南・伊藤早穂子・石野律子・阿部佑哉・吉楽旅館

■活動内容：

[9月14日(土)]

泉平の故斎藤好明さん宅から教育委員会に持ち込まれていた文化財(古文書類・奥様の斎藤真由美さんから依頼されていたもの)を確認。また、その斎藤家の倉庫に残った文化財の確認にうかがう日程を、現住の鈴木さんと打ち合わせた。

※吉楽旅館泊

[9月15日(日)]

廣瀬博明家文書の整理・目録採り。

※吉楽旅館泊

[9月16日(月)]

廣瀬博明家文書の整理・目録採り。昼過ぎから泉平の斎藤家(現在は鈴木さんという方が居住)を訪問し、倉庫内および母屋内の文化財を確認。一部はこらっせに運搬。

※吉楽旅館泊。

[9月17日(火)]

廣瀬博明家文書の整理・目録採り。また、採取目録のスキャンと整理を行う。午後撤収。

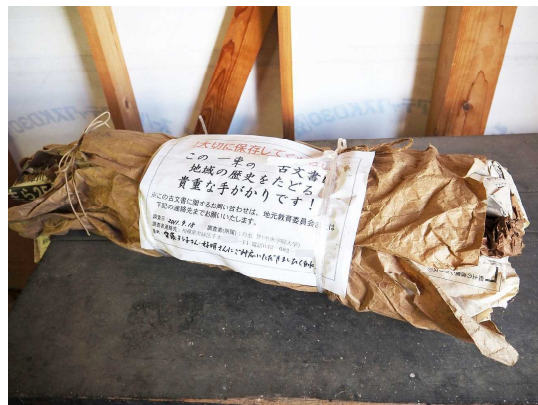
### 2. 文献班の活動内容

今回は、継続して行っている廣瀬博明家文書の目録採りなど整理作業のほか、新たに斎藤ヨシ子家

文書の確認と引き取り、および応急保存対応を行った。

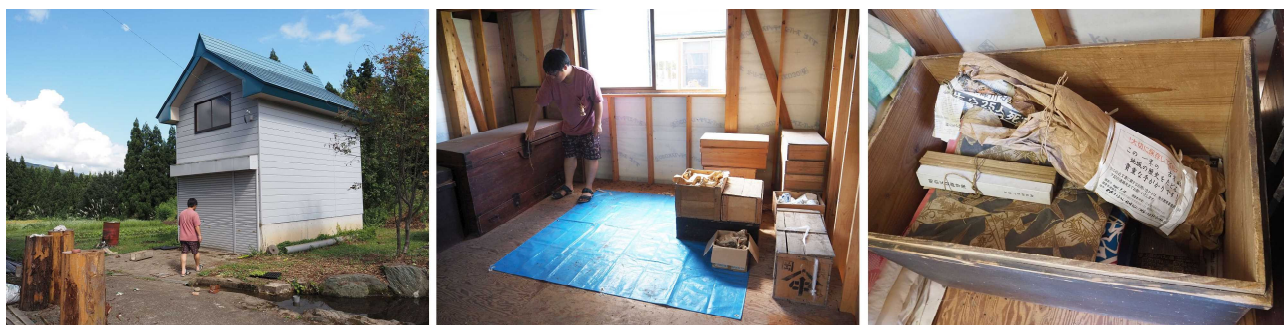
## ■斎藤ヨシ子家文書の確認・引き取り

泉平地区に所在する同家については、震災のあった2011年6月18日に文化財確認で訪問しており、その際に古文書や民具の存在を確認していた。そして同年9月18日には土蔵を取り壊す予定とのことで、民具引き取りの依頼があり、再訪した。その際に受け入れた民具は当時仮保管庫となっていた東部小学校志久見分校(現在のこらっせ)や原向地区の倉庫に収めた。しかし古文書類については、自宅で保管されとのことだったため、大事なものであるため廃棄しないように注意してくださいとの張り紙を巻くなどして残してきた。6月の際には、斎藤ヨシ子さんが、9月の際にはヨシ子さんと息子の好明さんが対応してくださった。その後、事情により、今年から泉平のお宅が別の方の手に渡ることになり、斎藤さんから栄村教育委員会に古文書の引き取り依頼があり、再訪することになったものである。



保存注記の紙を巻いておいた史料

9月16日(月・祝日)に白水は、石野律子さん・藤田明良さん・教委生涯学習係長の阿部佑哉さんとともに泉平のお宅を12年ぶりに訪問した。昔の土蔵は取り壊されていたが、その後同じ位置に2階建ての倉庫が建てられており、その倉庫内と母屋1階奥の倉庫内に古文書や民具が残されていた。斎藤



新たに建っていた倉庫とその2階の状況



母屋1階倉庫内の文化財の確認

真由美さんも長野市から駆けつけてくださり、立ち会いのうえ、ご同意いただいたものを引き取ることになり、若干の民具および外の倉庫2階にあった以前保存の注記を巻いた茶色の紙包みの史料を受け入れした。民具は旧東部小学校内の倉庫に運び込み、古文書はこらっせに搬入した。



情報交換する斎藤真由美さん・教委の阿部さん(右)と搬出した民具(中・左)

こらっせに運び込んだ紙包みの古文書は、大きなビニール袋に多めの防虫剤とともに封入し、一晩エントランスに置いてから翌日古文書保管室に収納した。



また、これより前には、斎藤さん宅から別に直接教委に古文書がダンボール1箱持ち込まれており、保全の会への確認依頼が来ていた。こちらについては、今回の活動初日(9月14日)に内容を確認し、保存の要ありと判断して、こらっせ2階の古文書収蔵室に運び入れた。



#### ■ 今回の史料整理状況(目録採りなど)

今回も廣瀬博明家文書の整理・目録採りは継続して行った。現在は近代の葉書などが多い部分に当たっており、読み解きに時間のかかる史料が多くなっている。



### 廣瀬博明家文書(目録採り)

○土蔵前室カ-4-161～191止

カ-11-6～20(途中)

カ-12-6～56(途中)

カ-14-1～16止

ス-1-1～ス-7(途中)

※カ-19の封筒が2つあり、重複していたので、番号をずらし、カ-28止だったのをカ-29止に変更した。

### 3. 今回の自炊ーワンコイン昼食！

今回は新米の差し入れなどもいただき、村の初秋の味覚を味わうことができた。とくに今年は世間で米不足による混乱が起きている中、とりわけ美味な栄村の新米をいただけたのは贅沢なことであった。





### Ⅲ 会計報告(大澤佳寿子・白水智)

今回の会計は、前回の5月末日までの分に引き続いて、7月の民具班の活動、9月の民具班・文献班の活動に関わる経費等を含めて6月1日～9月末日までの分を掲載する。

[2024年6月1日～9月30日までの支出]

<宿泊・厚生関係>

|                             |         |
|-----------------------------|---------|
| ○宿泊費補助(3名・6泊分)              | 17,000円 |
| ※1名は民泊だったため、2泊で5000円になっている。 |         |
| ○入浴券(回数券1綴+長瀬4名分)           | 7,200円  |
| ○お茶代(ペットボトル)                | 1,788円  |
| ○防虫剤                        | 630円    |

---

|   |         |
|---|---------|
| 計 | 26,618円 |
|---|---------|

[2024年6月1日～9月30日までの収入]

|       |     |
|-------|-----|
| ○貯金利息 | 92円 |
|-------|-----|

---

|   |     |
|---|-----|
| 計 | 92円 |
|---|-----|

|       |            |
|-------|------------|
| [残 額] | 1,426,359円 |
|-------|------------|

本報告書中、とくに執筆者の記載がない部分や撮影者注記のない写真は、白水が担当・提供した。